

大南の軌跡

武蔵村山市立 小中一貫校
大南学園第七小学校
学校だより NO12
令和7年1月29日

「心と体」

武蔵村山市立小中一貫校大南学園第七小学校

校長 川口 周作

先日、6年生の外国語（英語）の学習で「小学校の思い出を伝えよう」という授業がありました。緊張しながらも一人ずつ英語で思い出を発表していました。今までの学習の積み重ねが実った発表だと思いました。また、昨年12月頃から2年生が校長室に一人ずつ九九を唱えに来ています。合格認定に向けて緊張しながらも挑戦している姿があります。これらの緊張する経験は、今後の人生で何度も経験することになります。

緊張する経験を積むことで自信が付き、不安を感じなくなることが多いようです。学校生活においては、児童にとって緊張する場面がたくさんあると思います。児童が緊張する場面で教職員は、少しでも不安を解消できるような言葉かけを常に心がけるようにしています。

「インフルエンザ等による感染症予防」

昨年末から、本校でもインフルエンザ様疾患等による児童の欠席が現在でも続いています。学校全体で1日に30人前後の欠席者がいる日もあります。また、市内の小中学校でも流行しています。

校内の掲示板に、保健関係のポスターでインフルエンザの予防法が掲載されていました。タイトルは、『「こ」「う」「か」「て」「き」なインフルエンザの予防法』です。

「こ」こまめに石鹸で手をあらう。帰宅時や食事の前などに石鹸を使って手を洗い、ウィルスを落とします。

「う」うがいをする。口やのどのよごれを洗い流して、清潔にします。

「か」加湿をする。加湿器などで室内の湿度を上げて、空気の乾燥を防ぎ、ウィルスが体内に入らないようにする。

「て」抵抗力を高める。栄養バランスのよい食事や、適度な運動、十分な睡眠といった生活習慣を身に付けることによって、ウィルスに対する体の抵抗力が高まり、ウィルスに感染しにくくなります。

「き」きちんとマスクをつける。不織布マスクをつけるときは、不織布の部分で口をきちんと覆います。

とありました。新型コロナウイルスが日本で流行した時期から5年ほどが経ちました。その後2、3年ほどは、上記のことを徹底していたためインフルエンザ等の感染が少なかったのではという報告もあります。

学校でも、上記に関することのほとんどを行っています。健康に生活していくために、ご家庭と協力して上記のことを取り組んでいきましょう。

【施設工事等完了情報】

- ・学習農園（なな色園）の築山の樹木剪定完了
- ・体育倉庫扉
- ・トイレの匂い軽減（トイレ改修工事が延期となり、代替えの応急措置）
- （今後の予定）・元飼育小屋を一部倉庫へ改修
- ・開校記念樹の大幅な剪定作業

その他、老朽化などによる校内外の施設の軽微な修繕を行っています。今後も、予算内の範囲で児童の安全を優先した改修や修繕等を行っていきます。